

NIKKOR

NIKKOR Z 24-50mm f/4-6.3

Jp 使用説明書

En User's Manual

Fr Manuel d'utilisation

Sc 使用说明书

Es Manual del usuario

Kr 사용설명서

Jp 使用説明書

ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、カメラの説明書もご覧ください。

- このレンズは、ニコン Z マウントのミラーレスカメラ専用です。

安全上のご注意

あなたや他人への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。

- 警告** 「死または重傷を負うおそれがある内容」です。
- 注意** 「軽傷を負うことと財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。

- は、**してはいけない内容**です。
- ⓐ は、**実行しなければならない内容**です。

⚠ 警告	
	分解、修理または改造をしない 落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない 感電や火傷の原因になります。
	実行 発火する、爆が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちにカメラの電源を取り 外す 放置すると、発火、やけどの原因になります。
	禁止 水で濡らした状態で触らない 失明や視力障害の原因になります。
	禁止 引火、爆発のおそれのある場所では使わない 故障や火傷の原因になります。
	禁止 フロントガラス、ガラス、可燃性スプレーなどの可燃性ガスや粉塵が発生する 場所で使うと、爆発や火災の原因になります。
	禁止 レンズで直接太陽や強い光を見えない 失明や視力障害の原因になります。
	禁止 幼児の手が届くところに置かない 故障や火傷の原因になります。
	禁止 高温湿気や低温湿気では、直接触れない やけどや低温やけど、凍傷の原因ことがあります。

⚠ 注意	
	禁止 レンズを大雨や強い光線に長時間に接しない 発熱して、内部部品の破損や発火の要因になることがあります。
	禁止 風向が強い時は、太陽を風向から十分に守ってください。 風向から太陽をむき出しに外しても、発火の原因になります。
	禁止 乾燥した場所や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない 故障や変色の原因になります。
	禁止 水濡れなどカメラやレンズを取り付けたまま移動しない 故障や変色の原因になります。

レンズの使い方

各部の名称と機能

左図で示されている各部の名称と機能は以下の通りです。

① レンズフード着脱指標	レンズにレンズフードを取り付け这时的指標が	詳しくは ➡
② スムーリング	このリングを回転させるとズームリングが	詳しくは ➡
③ 焦点距離目盛	ズームリング時の焦点距離の目安として使用	—
④ 焦点距離目盛指標	ズームリング時の焦点距離の目安として使用	—
⑤ コントロールリング	オートフォーカス時 このリングを回転させると、「フォーカス (M/ A)」や「絞り」などカメラで設定した機能を使用できます。詳しくは、カメラの説明書に 記載されている「 カスタムボタンの機能 」または「 カスタムボタンの機能 (撮影) 」の説明をご覧ください。	—
⑥ レンズ着脱指標	マニュアルフォーカス時 このリングを回転させると手動でピント合わせが	—
⑦ CPU 番号接点	カメラとレンズの間で情報を伝達します。	—
⑧ レンズフード	画像に悪影響を及ぼす光線をカットします。 レンズ面の保護に役立ちます。	詳しくは ➡
⑨ レンズフードセット指標	レンズにレンズフードを取り付け这时的指標が	詳しくは ➡
⑩ レンズフード取り外し指標	レンズにレンズフードを取り付け这时的指標が	—
⑪ レンズキャップ (フロントキャップ)	—	—
⑫ レンズキャップ (リアキャップ)	—	—

※ レンズフードは別売です。

A カメラへの取り付け方・取り外し方

- 取り付け方**
- 1 カメラの電源を OFF にして、レンズのリアキャップとカメラのボディキャップを外す
 - 2 カメラとレンズのレンズ着脱指標を合わせ、反時計回りにカチッと音がするまでレンズを回す
- 取り外し方**
- 1 カメラの電源を OFF にする
 - 2 レンズ取り外しボタンを押しながら、時計回りにレンズを回して取り外す

- 撮影前の準備**
- このレンズは光学機構を採用しており、撮影するにはレンズを繰り出す必要があります。スムーズにレンズを繰り出すために、以下の手順に従ってください。
- 1 カメラの電源を ON にすると、警告メッセージが表示されます。撮影するときレンズを繰り出してください。

B 撮影前の準備

このレンズは沈胴機構を採用しており、撮影するにはレンズを繰り出す必要があります。ズームリングを矢印の方向にカチッと音がするまで回すと、レンズが繰り出します。焦点距離目盛が 24-50 の範囲内でのみ撮影できます。